

平成 28 年度 神奈川県立足柄高等学校不祥事ゼロプログラム 検証結果

神奈川県立足柄高等学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のように不祥事ゼロプログラムに取り組みました。

1 実施責任者

神奈川県立足柄高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者を校長とし、副校長がこれを補佐し、全職員が「不祥事ゼロ」の当事者であることを認識し、主体的に不祥事ゼロに取り組みました。

2 検証と自己評価

(1) 第1回検証

規定した行動計画について、平成 28 年 10 月初旬に実施状況を確認し、特に補完措置や各目標達成に向けた行動計画の修正は行いませんでした。

(2) 第2回検証

規定した行動計画について、平成 28 年 12 月初旬に実施状況を確認し、特に補完措置や各目標達成に向けた行動計画の修正は行いませんでした。

(3) 最終検証

規定した行動計画について、平成 29 年 3 月初旬に実施状況を確認し、次のように検証と自己評価を行いました。その結果をもとに、平成 29 年度における足柄高等学校不祥事ゼロプログラムを策定します。

平成28年度 県立足柄高等学校 不祥事ゼロプログラム検証・自己評価				
取組課題	目標 (達成すべき内容)	行 動 計 画	検証	自己評価
1 法令遵守意識の向上	教育公務員として厳正に服務規律を遵守し、公務外非行を防止します。	① 日常的に服務の厳正を図り、法令を遵守します。	○	○
		② 啓発資料等を活用して、教育公務員としての法令遵守意識を向上させます。	○	○
2 わいせつ、セクハラ行為の防止	セクハラやわいせつ行為を防止します。	① 職員研修会の実施や啓発資料を活用して意識喚起等に努め、セクハラ、わいせつ行為等を未然に防止します。	○	○
		② 原則として、生徒との連絡に携帯電話やメール、SNS等を使用することを禁止し、生徒に対する不適切な指導やセクハラ行為を防止します。	○	○
		③ 教科準備室等の適切な利用の徹底を図ります。	○	○
3 体罰、不適切な指導の防止	適切な生徒指導に努め、体罰を防止します。	① 日ごろから、生徒・保護者とのコミュニケーション等によって生徒理解を深め、信頼関係を構築して、体罰・不適切指導を防止します。	×	×
		② 研修や啓発資料の活用等により人権意識を高め、生徒理解に基づく体罰によらない指導を徹底します。	△	△
4 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	通知表や調査書等、成績処理及び進路関係書類の作成に係る事故を防止します。	① 成績処理及び進路関係書類の作成・点検に係るマニュアルに基づき、作成・点検を確実に実施します。	△	△
		② 互いにフォローする意識を持ち、効果のある点検によりエラーを防ぎます。	×	×
5 個人情報等の管理・情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の適切な管理や取り扱い及び情報セキュリティの確保を図ります。	① 個人情報や電子媒体等の管理の徹底や携帯電話のパスワードによるロックの設定を徹底します。	○	○
		② 行政文書等の誤廃棄が発生しないよう、保存、取扱いの厳正を図ります。	○	○
6 会計事務等の適正執行	適正な経理処理に努めます。	① 私費会計事務処理の手引きに則った会計処理を行います。	○	○
		② 私費会計担当者をはじめ、全職員対象の研修会や日常的な正副チェック体制のもと、会計業務の厳正化を推進します。また、備品管理の適正を図ります。	○	○